

## (5)大正・昭和以降

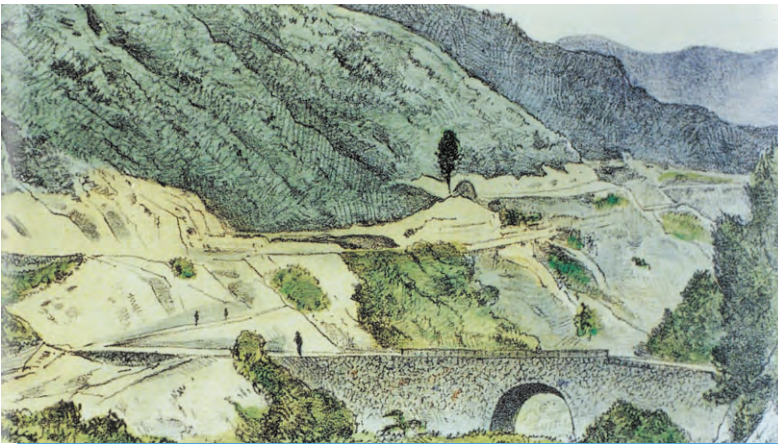
# 舟運や街道に変わって、 鉄道や道路網が整備される。

## 新潟方面の交通網

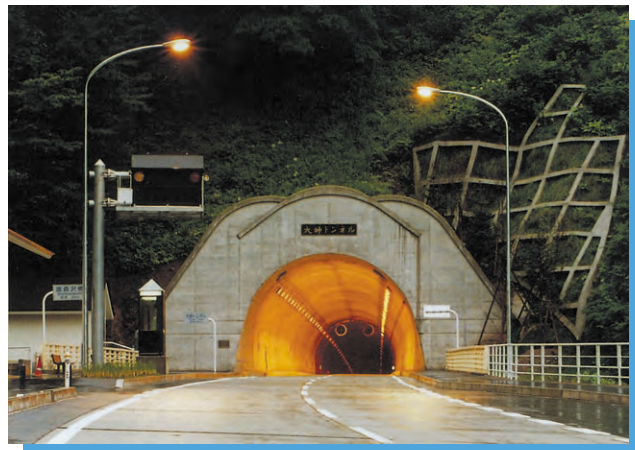
阿賀川舟運は衰退し、岩越鉄道が新津まで開業、平成にはいって磐越自動車道が開通する。

## 米沢方面の交通網

日中線は、昭和13年に野岩羽線やがんうせんの一部として開通するが、昭和59年に廃線となった。明治に開かれた大峠道路は、昭和に入り自動車を通れるように改良され、昭和28年国道に指定される。しかし、大峠は一年の半分以上が積雪で閉鎖され幅員も狭い危険な道だったため、昭和49年より新道(一般国道121号)の事業が始まり、平成4年、日中トンネルを含む区間が部分開通し供用される。



旧大峠道路の様子  
(資料: 図説喜多方の歴史)



平成4年に開通した大峠道路